

東近江行政組合自動体外式除細動器（ＡＥＤ）貸出要綱

（目的）

第１条 この要綱は、近江八幡市、東近江市、日野町、竜王町及び愛荘町の区域（以下「圏域」という。）内で開催される各種行事の参加者等が心停止状態に陥った場合における速やかな応急手当に備えるため、行事の主催者への自動体外式除細動器の貸し出しについて必要な事項を定め、圏域における住民の安心と安全の向上を図ることを目的とする。

（貸出機器）

第２条 この要綱により貸し出す自動体外式除細動器は、各消防署及び消防出張所に配置した６台の自動体外式除細動器（以下「ＡＥＤ」という。）とし、配置先は次の表のとおりとする。

配 置 先	住 所	台数	管理番号
近江八幡消防署	近江八幡市小船木町８１９番地	１台	No. １
八日市消防署	東近江市東今崎町５番３３号	１台	No. ３
愛知消防署	東近江市小八木町１６番地	１台	No. ５
日野消防署	蒲生郡日野町河原一丁目１番地	１台	No. ４
日野消防署南消防出張所	東近江市葛巻町３４０番地	１台	No. ７
能登川消防署	東近江市能登川町１７１１番地	１台	No. ８

２ 貸出機器は、次に掲げるとおりとする。

- (１) ＡＥＤ本体
- (２) キャリングケース
- (３) 除細動パッド（成人用 ２組） 小児用キー
- (４) 消耗品（タオル２本、はさみ、かみそり、ゴム手袋、人工呼吸用マウス）
- (５) のぼり旗、ステッカー、使用マニュアル
- (６) 取扱説明書

（貸出対象行事）

第３条 ＡＥＤの貸出対象行事は、圏域内で開催されるスポーツ大会、イベント、講演会、コンサート等とする。

（貸出対象者）

第４条 ＡＥＤの貸出しを受けることができる者は、前条の貸出対象行事を主催する団体の代表者とする。

（貸出期間及び台数）

第５条 ＡＥＤの貸出期間は、貸出対象行事の開催期間に前後１日ずつを加えた期間とし、貸出台数は１台とする。ただし、管理者が特別の理由があると認める場合は、この限りでない。

（費用負担）

第６条 ＡＥＤの貸出しは、無償とする。

（貸出の申請）

第7条 AEDの貸出しを受けようとする者は、貸出対象行事の開催日の7日前までにAED配置先の窓口に設けてある自動体外式除細動器（AED）貸出申請書（様式第1号。以下「申請書」という。）を管理者に提出しなければならない。

（貸出の決定）

第8条 管理者は、前条の規定による申請があったときは、その内容を審査し、貸出しの決定をするものとする。

2 貸出期間が重複する2以上の申請があった場合においては、申請書の到達した順により決定するものとする。

3 第5条ただし書き及び前項の申請により配置台数を超えた場合は、地域振興課において調整を行うものとする。

4 前3項の規定により貸出しを承認したときは、自動体外式除細動器（AED）貸出管理台帳（様式第2号。以下「台帳」という。）に必要事項を記載すると共に、当該申請書の写しを地域振興課に送付しなければならない。

（貸出）

第9条 AEDを貸し出すときは、AEDを借り受ける者の本人確認を行い、貸し出さなければならない。

（貸出中の管理等）

第10条 AEDの貸出しを受けた者（以下「借受者」という。）は、AEDを常に良好な状態で管理し、使用しなければならない。

2 借受者は、AEDを目的以外に使用してはならない。

3 借受者は、AEDを転貸し、又は譲渡してはならない。

4 借受者は、AEDを会場内に設置し、設置場所を標示するのぼり旗を掲出しなければならない。

（損害賠償）

第11条 借受者は、AEDを紛失、破損等したときは、これを賠償しなければならない。

（貸出の中止・返還）

第12条 管理者は、借受者が貸出対象行事を実施しないとき、又は第10条の規定に違反すると認めるときは、貸出しを中止し、返還させることができる。

（返却）

第13条 借受者は、貸出期間終了後、速やかにAEDを返却しなければならない。

2 借受者は、AEDを返却するときは、本体及び付属品の現状の確認を受けなければならない。

3 前項の確認を行った者は、申請書に異常の有無を記載しなければならない。

付 則

この要綱は、平成19年9月18日から施行する。

この要綱は、平成22年4月1日から施行する。

この要綱は、平成25年12月3日から施行する。

この要綱は、平成26年8月22日から施行する。